午前中の自然観察会。かなたけの里公園内のビオトープで活動する「室見川再生を語る会」の皆さんに活動をご紹介いただいたり，ドジョウが戻ってきたビオトープで生きものを採集して観察したり。

お二人が出会ったのは，太宰府市の環境フェスタのミーティングの場。子どもを中心にアートで地域をつなぐ活動をしている牟田さんが，岩熊さんと一緒にやりたいと思ったのは「向いている方向が『子ども』というのが一緒だった」から。岩熊さんにとっては最初はアートの世界がよくわからず，まず受け止めて相手のことをよく知ることから始めたそうです。相手へ敬意を払い，それぞれが伝えたいことをきちんと整理する過程を大切にしているからこそ，よい連携になっているんだなぁと気づかされました。また「明るい気持ちが地域も自分も元気にする」という，牟田さんの言葉。楽しければなんでも！とは言わないまでも，まずは自分たちが楽しむことが大切ということに，みんな深く共感しました。

おやつは，福岡市近郊で採取されたニホンミツバチのハチミツ。ハチミツは、花粉が含まれる量が多いものや採れた場所が違うものなどの味を比べてみましたが、どれもセイヨウミツバチのハチミツよりも「濃い」味がする！という声が多かったようです。

開始前に収穫した，かなたけの里公園の柿

後半は3～4人の小グループに分かれてお二人のお話の感想や，「このメンバーで一緒にやったら面白そうなこと」をテーマに自由に話をし合いました。ゲストのお話に触発され，本当に面白いアイデアが！話が拡がる，楽しい時間になりました。